

令和2年度 自己評価報告書



2021年4月1日

■ 園の概要

当園は、埼玉県越谷市に昭和47年4月に学校法人として開園しました。

長年、産業道路沿いの「ピンク色の幼稚園」として子ども達の目ひく園舎にて幼児教育を行ってきました。平成25年4月、園舎の老朽化や交通量の多い道路事情を考慮し、よりよい教育環境をめざし川柳町へ移転、新築いたしました。

待機児童の増加という現在の子育て事情を鑑み、「少しでも、地域の子育て環境を良くしたい。」との思いから、保育園部門を設置し「認定こども園」として同年開園致しました。

平成27年「子ども子育て新制度」に伴い、幼稚園部門・保育園部門が統一され、新たなスタートを切っております。

■ 本園における園評価のねらい

学校評価を実施することにより、より良い保育や園行事・園運営の充実に生かしていきたいと考えております。職員の自己評価や、外部の皆様にご意見を頂くためのアンケート調査を行い、前年度よりも内容の濃い園評価を実施していきたいと思っております。

学園理念

【教育目標】

つよい体やさしい心の子どもに育てる。

【保育目標】

家庭的保育かつ集団生活における教育の中で一人一人がいきいきとした生活を送る。

【経営理念】

子ども・保護者・教職員に対するサービス心の経営。

基本方針

総合的な経験や具体的な活動を通して、情緒の安定した安全な生活を送り、心身の健全な発達を図る。子育て付加事業により、保護者の思いをサポートしながら、子育て環境の活性を図り社会的役割を果たす。

教育目標

- 一、心身共に健康で明るい子ども
- 一、がまん強く、頑張りのきく逞しい子ども
- 一、優しく素直で、思いやりのある子ども
- 一、ご挨拶の出来る子ども

<p>保育の計画性</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 学園理念や保育・教育目標 □ 5領域 10の姿の理解 □ 指導計画の作成 □ 環境構成 □ 評価・反省
<p>【目標・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 一人ひとりの発達や個性を見て、本児にあった指導計画を考え保育をする。 □ 一つひとつの活動にねらいや目標をもって取り組めるようにする。 □ 子ども達の発見を大切に、工夫や発展できる遊びの空間を作っていく。 □ 情報の共有をし、同じ目標を持って保育する □ 見える化し、常に意識して行動する。 □ 子どもをの姿を捉え、要求に応じられるよう環境構成する。 □ 学年で話し合う時間を作り、共通理解を深められるようにする。 	
<p>【よく出来たこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 一人ひとりの気持ちを受けとめ、安心して過ごせるよう一対一の関わりを大切にしました。 □ 子どもに何が育ってほしいか、今一番何を伝えたいのかを考えて週案や日案を立てることができた。 □ 子ども達の気づきを敏感に感じられるように心掛け、担任同士で擦り合わせを細やかにしていくことが出来た。粘土用ばさみを使ったはさみの扱い方を学べるようにしたり、狭く感じる保育室を広く使用できるように子ども達の様子に合わせて考えていくこともでき、保育室の空間作りを工夫して1年間使うことができた。 □ 体力作りの為、戸外遊びを積極的に取り入れた。また、コロナ禍により行事が無くなった分、代替案を提案し実行した。 □ 学年目標やクラス目標など、目に見える所に貼り、意識を持つ事が出来、他クラスと共通意識のもと保育できた。 □ 年度初めに準備したカリキュラムを計画的に進められた。 □ 学年会議の他にも話し合う場を作ったり、子どもの情報交換・共通理解はしていった。 	
<p>【課題と思ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 月齢の差があった為、午前睡をしている子、しない子がいる中での保育内容を充実させる。 →保育者3対1（まだハイハイもいる中）で、どんな保育が安全に楽しくできるのか考えたり、別室で保育できる環境を作れることが必要だと感じた。 □ 給食後や午後おやつ後の過ごし方。 □ 計画から保育までの実施をスムーズに行うことが出来た。又、考察も考えることが出来た。 □ メモを取ることをしないこともあったので、メモを取る習慣もつけていきたい。 □ 指導計画がその日になってしまう事もあり、準備など余裕を持つ必要があった。 □ クラスとしての計画以外に一人ひとりの発達の理解と援助方法を考える時間的余裕が足りない。 □ シフトで動く中、思うように学年の時間を作りづらい所があった。 	

<p>保育の在り方</p> <p>こどもへの対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 健康と安全の対応 □ 子どもとの信頼関係 □ 保育者同士の協力・連携 □ 支援を必要とする園児への取り組み
<p>【目標・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 一対一の関わりの中で、スキンシップを沢山取り、思いに寄り添いながら丁寧に関わっていく。 □ 子ども一人ひとりの思いに寄り添い、甘える時は甘えさせて信頼関係を築いていく。 □ 子どもの声や思いに耳を傾け、見守りと援助のバランスを大事にしていく。 □ 1人ひとりの行動をよく観察し、気持ちに寄り添うことが出来るよう身体関係を気づく。 □ 報連相を徹底し、より多くの目で子どもを見守り、より良い保育が出来るようにする。 □ ひとりひとりの個性を磨き発達に応じた保育を行う。 □ 保育者同士のコミュニケーションをこまめに取り、情報の共有を行えた。 □ 感染症対策もマスクの徹底等、子ども達への理解を促せた。 □ 一人ひとりの発達に見合った、言葉掛けや援助を心掛けていく。 	
<p>【よく出来たこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 慣らし保育中は特に、一定の保育者との関りが持てるように、寝かしつけや食事援助などを行った。 □ 担任同士話し合い、反省し理解し合いながら子どもの成長を見守れた。 □ 全ての面で子ども達を見守る保育が出来た。援助という点では、個々に合わせたかかわり方を担任同士で共有して、その場その場での臨機応変な関りをする事が出来た。 □ 子ども達、1人ひとりの良さを認め更なる挑戦への後押しが出来るよう心掛けてきた。 □ 全体で説明や促しをした後、一人ひとりに合わせ、声掛けや援助をしていった。 □ どの子に対しても、一対一での時間、援助を心掛け、発達も把握できるようにした。 □ 担任だけでは変化が見られない時には、他の保護者の手を借り援助をしてもらったりと色々な方面から子どもの姿を見れるようにした。 	
<p>【課題と思ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ ふれあい遊びを皆でできるものをもっと知りたい、取り入れたいと思った。 □ イヤイヤ期の子に対しての言葉掛けの難しさ。 □ 何事も子ども達は出来ると思い、見守り続けていく。援助する一歩目を見極めて子ども達一人ひとりのやる気や意欲を引き出していきたい。 □ 保育者が何を行おうとしているのか察知して、臨機応変に動くことを心掛ける。 □ コロナ禍の保育という事もあり、制限も多く、特に食事面でしゃべらずに食事するのは難しかった。 □ 同じことの言葉掛けや支援が続いていしまう場面になると、次第に自分自身に余裕がなくなり言い方が強くなってしまいう事があった。 	

保育者としての 資質と能力

- 専門家としての能力・姿勢・義務
- 組織の一員としての在り方
- 保育の楽しみ・喜び

【目標・取り組み】

- 子どもの様子などを保育者間で「ほう（報告）・れん（連絡）・そう（相談）」を心掛け、共有し合い保育のやり方に色々な視野を持ち、臨機応変に対応する。
- 保育者同士の思いに気づきながら、みんなが気持ち良く過ごせる方法を考える。
- 1つ1つの物事を多面的に見て、仲間に伝え相談し、的確に判断していく。根拠をもって、繰り返し伝えていく。
- 身だしなみ、言葉遣いに気を配る。
- 職員同士の情報を共有し、学年主任として責任を持って判断対応をする。
- 職員同士でも良さを認め合えるようコミュニケーションをとる。
- 子ども達の成長を自分の喜びとし、自分自身が楽しんで保育をしていく。

【よく出来たこと】

- 会議などで子どもの様子を伝えたり、休みの場合、（普段の様子・気をつけること）などを伝えるように心掛けた。
- 保育者同士の連携を考えながら一日の流れや休憩の取り方を考えた。
- コロナ禍ということもあって、今までとは違ったことで相談をすることが必要になり、伝える方法を分かりやすく、理解しやすい伝え方に工夫できたように思う。
- 自分自身の体験談を踏まえて、仲間の保育士一人ひとりを信頼することが更に出来た。
- 保育の進め方や対応など、先輩保育教諭を参考にしたり、相談することにより、保育の質を高められるよう努力した。
- 主任会議などで得られた情報は早めに共有し伝えてきた。
- 責任を持って自分の意見を伝え、考え、取り組んできた。
- 主体的に活動を楽しめるよう努めた。
- 子ども達と一緒に考え、どのようにしたら出来るのか話し合う時間を作り、一緒に課題に取り組めるようにし、成長や成果を共に喜んだ。

【課題と思ったこと】

- より一層、仲間を信頼していく。
- 自分自身が苦手な相手の直すべき点などをしっかりと伝えられるように少しずつしていきたい。
- 足りない知識を補えるよう、勉強し、保育者として自分を高めていきたい。
- 主体的な活動を行う上での準備をする時間の確保が難しい。

<p>保護者への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 情報の発信と受信 □ 守秘義務の遵守 □ マナー・心構え □ 要望への対処の仕方
<p>【目標・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 家庭での生活リズムや癖など聞き、家庭と同じような保育を心掛ける。その日の様子を詳しく伝える。 □ 保護者の立場を考えて言葉をかけると共に、子どもの成長を共感する。 □ 保護者と伝えやすい関係を築き、互いに子どもの情報を共有し、一緒に子育てをしていく。 □ 保護者の思いを受け止め、子どもの様子などを伝えながら不安や気になっている事を解決していけるよう努力する。 □ 傾聴の姿勢を持ち支援し、子育てに対する理解を示し丁寧に応じる。 □ 要望はメモに取りすぐに対応する。 □ 不安や悩みなど様々な分野で保護者と一緒に考えていけるよう努力する。 	
<p>【よく出来たこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 連絡ノートでのやりとりを大切に、慣らし保育期間は口頭で細かく伝えたり、家庭での様子を聞き、一緒に保育していけるように心掛けた。 □ 一日の様子を伝えるようコミュニケーションをとった。 □ コロナ禍で発信の仕方であったり、内容を考えたりと担任同士話し合いながら進めていくことが出来た。保護者の立場に立って、どのように伝えたら把握しやすいかを考えていった。 □ 保護者と顔を合わせた際には、様子や気になることを伝えられるように心掛けた。 □ 言葉遣いなど、丁寧にするように気をつけた。 □ 食育などでは家庭に協力を頂いたり、家庭の様子もうかがえた。 □ 連絡ノートでの連絡漏れなどのないよう留意できた。 □ 個人面談等で不安や悩みが解決できるようにしていった。 	
<p>【課題と思ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 伝達ミスなどがあった。 □ 保護者の忘れ物や時間の遅れでの登園など保護者に繰り返し伝えていくことが出来たら良かった。 □ 連絡が遅れてしまい、上手く伝えられない時があった。最後までしっかりと対応していけるようにしたい。 □ 参観が減っていることもあり、今まで以上に情報（子どもの様子）等伝える必要があったかと思う。 □ 報告が遅れてしまい、信頼関係に関わる対応になってしまった。 	

<h2>研修と研究</h2>	<ul style="list-style-type: none"> □ 研修と・研究への意欲・態度 □ 保育士としての専門性に関する研修・研究 □ 今、自分に必要な課題に関する研修・研究
<p>【目標・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 病気や安全な環境などを詳しく知り、保育に生かす。 □ 自分自身の保育を見直し、よりよい保育を目指していく。 □ 色々な研修に参加し、スキルアップを目指す。 □ 向上心を持って積極的に参加する。 □ 日々の保育の記録をメモに取り PCDA に生かす。 □ 研修後のまとめ、振り返りを行い、職員間で情報交換をし自分の保育に役立てる。 	
<p>【よく出来たこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 月齢差があったので、発達の順がよく分かり、対応することができた。 □ 現状を踏まえてクラスで必要なことを調べたり、学年や園全体で必要なことを学び周知することが出来たように思う。特にヒヤリハット関連は職員への意識づけや周知、実施、集計して次年度始める準備期間を作り、実行することが出来た。 □ 保育に悩んだ時には、本を読んだり、調べたり、他の先生の意見を聞いたりしながら、保育に役立てることが出来た。 □ キャリアアップの研修に参加し、現場へ生かしたり知識が得られた。 □ 保育士と情報交換し、保育を意識しながら取り組めた。 	
<p>【課題と思ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 病気について、まだ分からないことがあるので、より詳しく知れるようにし、どのように対応するのも頭にいれておきたいと思った。 □ 今後は幅広い問題に対して、1つ1つ解決しながら進んでいく。 □ コロナ禍の中で、思うように研修に参加する事が出来なかった。こまめに研修をチェックし、参加出来るようにしたい。 □ 研修日がほとんど園行事のある日（平日）と重なっていて、受けた研修が受けられない事がある。 □ 研修には積極的に参加したが、すぐに研修報告にまとめられず、全職員への周知にまで至らなかった。 	

以上

全教職員への周知・園内掲示・令和3年HP上への公開を行うものとする。